日刊建設通信新聞（2015 年 8 月 31 日付 3 面掲載）

【社会価値創造企業へ　ACKG 創立 10 周年　新たな分野に事業拡大】

社会価値創造企業へ

ＡＣＫＧ 創立10周年　新たな分野に事業拡大

野崎秀則ＡＣＫグループ社長は、28日に東京・西新宿のベルサール新宿グランドで創立10周年記念式典を開き、「新たな価値を社会に提供して、社会づくりに貢献する社会価値創造企業を目指す」と今後の方向を示した＝写真。成長路線を維持するために、経営基盤の社会インフラ事業を充実するとともに、教育、福祉、観光、農業・林業・漁業の新たな分野に事業を拡大する考えを明らかにした。

同社は２００６年、オリエンタルコンサルタンツなどの持ち株会社として設立。売上高１７２億円、役職員約９００人の規模でスタートした。10年目の15年９月期は、売上高３７０億円（見込み）、役職員約１７７０人で、売上高は設立時の２倍以上に成長した。

20年のビジョンは、売上高５００億円以上、営業利益20億円以上に設定、企業像は社会インフラ創造企業を掲げている。その先の企業像として社会価値創造企業を目指す。具体的には、既に取り組んでいる防災や地域活性化など重点化プロジェクトに加え、ＣＳＲ版重点化プロジェクト、総合プロジェクトを国内外で展開する。

ＣＳＲ版は、ＣＳＲ（企業の社会的責任）活動を通じ、社会と協働して新たな社会価値を創造することで、社会と一緒に成長するプロジェクト。総合プロジェクトは、海外を含む国や地域の課題を、社会インフラ事業と重点化プロジェクトで総合的に解決する。

将来に向けて野崎社長は、「未来を想像し、価値を創造しよう。さらなる成長に向かって、これからもグループ役職員が一丸となってがんばろう」という2つのメッセージを送った。

日刊建設産業新聞（2015 年 8 月 31 日付 2 面掲載）

【ACK グループ　創立 10 周年で記念式典　社会価値創造企業目指す】

設立10周年で記念式典

社会価値創造企業目指す

ＡＣＫグループ

ＡＣＫグループは、10周年記念行事として設立10年目にあたる28日に、「更なる成長に向けて」をテーマとする記念式典を、東京・新宿区のベルサール新宿グランドホールで執り行った。グループ企業主要6社、関連会社から約１８００人が参加し、他の地域の会場にはライブ中継で接続した。

セッション1として、野崎秀則社長＝写真＝が社長講話を行った。講話では、関係者への感謝を述べるとともに、ＡＣＫグループの沿革、成長の軌跡などに触れた後、「これまで、社会インフラを中心として、『安全、安心、快適、活力』に向けた価値を提供してきた。これからは、多様化・複雑化する社会ニーズに対応するため、基盤となる社会インフラ事業を充実すると共に、教育、福祉、観光、農業など、幅広い分野に事業を拡大する。これにより、『魅力ある社会づくり』や『持続可能な社会づくり』につながる価値を提供していく」と述べた。

これらを背景として、「ＡＣＫグループは、２０２０年のビジョンである『社会インフラ創造企業』の先にある姿として、新たな価値を社会に提供し、社会づくりに貢献する『社会価値創造企業』を目指す」と力強く述べ、「このような社会価値を提供するため、更なる変革と挑戦を続け、これにより、我々のミッションである『世界の人々の豊かなくらしと夢の創造』を一層果たすことができる。グループ職員が一丸となって、頑張っていこう」と呼びかけた。

続いて、セッション2で、プロジェクト発表、パネルディスカッションが行われ、セッション3として、プロサッカー指導者の佐々木則夫氏による記念講演「目標達成へのプロセス～ソーシャルフットボール～」が行われた。その後、祝賀会が開催された。

ＡＣＫグループは、オリエンタルコンサルタンツを中核としたグループで、06年に完全持ち株会社としてグループを設立した。これからも、多様化・複雑化する社会のニーズに応え、社会に一層の貢献を行っていくために、事業を展開していく。

建通新聞（2015 年 8 月 31 日付 3 面掲載）

【ACK グループ「社会価値創造企業」目指す】

ＡＣＫグループ「社会価値創造企業」目指す

建設コンサルタントのオリエンタルコンサルタンツ（野崎秀則代表取締役社長）を中核とするＡＣＫグループ（同）は28日、設立10周年記念式典を都内で開いた。野崎社長＝写真＝はグループ企業６社の役員と社員を前に講話。「新しい価値を創造し、社会に提供する『社会価値創造企業』を目指す。そのためにも変革と挑戦を続けていこう」と呼び掛けた。

野崎社長は「われわれは２０２０年のビジョンとして『社会インフラ創造企業』を標榜してきた。これからは多様化、複雑化する社会ニーズに応えていかなければならない」と指摘し、基盤となる社会インフラ事業の充実を図るとともに、教育、福祉、観光、農業など幅広い分野に事業領域を拡大していく考えを示した。

その上で「グループのミッションは、魅力ある社会づくりや、持続可能な社会づくりにつながる価値を提供し続けていくことだ」と強調。「そのためのたゆまぬ変革と挑戦こそが、社会・顧客からの信頼を獲得し、企業ブランドを不動のものにする」との持論を展開。あらためてグループ企業社員の技術力向上を促すとともに、グループ企業６社の協働と連携の強化を訴えた。

ＡＣＫグループは、06年に参画企業11社の完全持ち株会社として設立された。統合・再編を経て現在はオリエンタルコンサルタンツ、オリエンタルコンサルタンツグローバル、アサノ大成基礎エンジニアリング、エイテック、中央設計技術研究所、リサーチアンドソリューションーの６社で構成している。10年目を迎える今期は設立時の２倍以上に当たる売上高１７２億円を達成する見込み。